

第35回マリンボールカップ女子 Aゾーン決勝 8月3日(日)

柿生フィリーズ(川崎) 79 vs 23 岩間ミニバスケットボールスポーツ少年団(茨城)

- Q1 柿生、ゾーンディフェンスでのスタート。開始早々柿生#14のゴール下が決まり先制する。岩間は#5を中心にパスを回していくが、なかなか中を上手く攻める事が出来ず苦しいシュートとなる。柿生は、速攻・ゴール下のシュートが決まり得点を重ね、1Qを終了。
柿生 24-6 岩間
- Q2 柿生は、ゾンプレスに対し岩間は、ハーフマンツーと変わらずスタート。開始早々、岩間は、#4を中心にシュートを決めだす。それに対抗し柿生#11のゴール下でのシュートでさらに点を引き離す。最後まで柿生のペースのまま 柿生リードで2Qを終了。
柿生 18-4 岩間
- Q3 両者共に、ディフェンスは変わらずスタート。開始早々、柿生の全員バスケがひかり、センタープレー、ジャンプシュートすべてが上手くいき、どんどん点を離していく。岩間もオフェンスで粘りを見せ、最後まで食らいつこうとする。だが、柿生のスピード、高さでは歯が立たず、柿生の波が続く。柿生のペースで3Qを終了。
柿生 17-2 岩間
- Q4 3Qの流れのまま、柿生のペースで試合がスタート。序盤から岩間はオールコートプレスで、最後のふんばりを見せる。岩間のペースになりかけたが、柿生#4の落ち着いた早いパス回しからの柿生#8のゴール下シュート。更にプレスに対してのパスランで徐々に点差が広がり始め、柿生の勝利となった。
柿生 20-11 岩間

協力／ 横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会

